

**2017年12月期  
第2四半期 決算説明資料**

**株式会社 船場**

証券コード：6540

**2017年8月30日**

## 2017年12月期 第2四半期 決算説明資料

### I. 企業紹介 及び 業務実績と成長機会

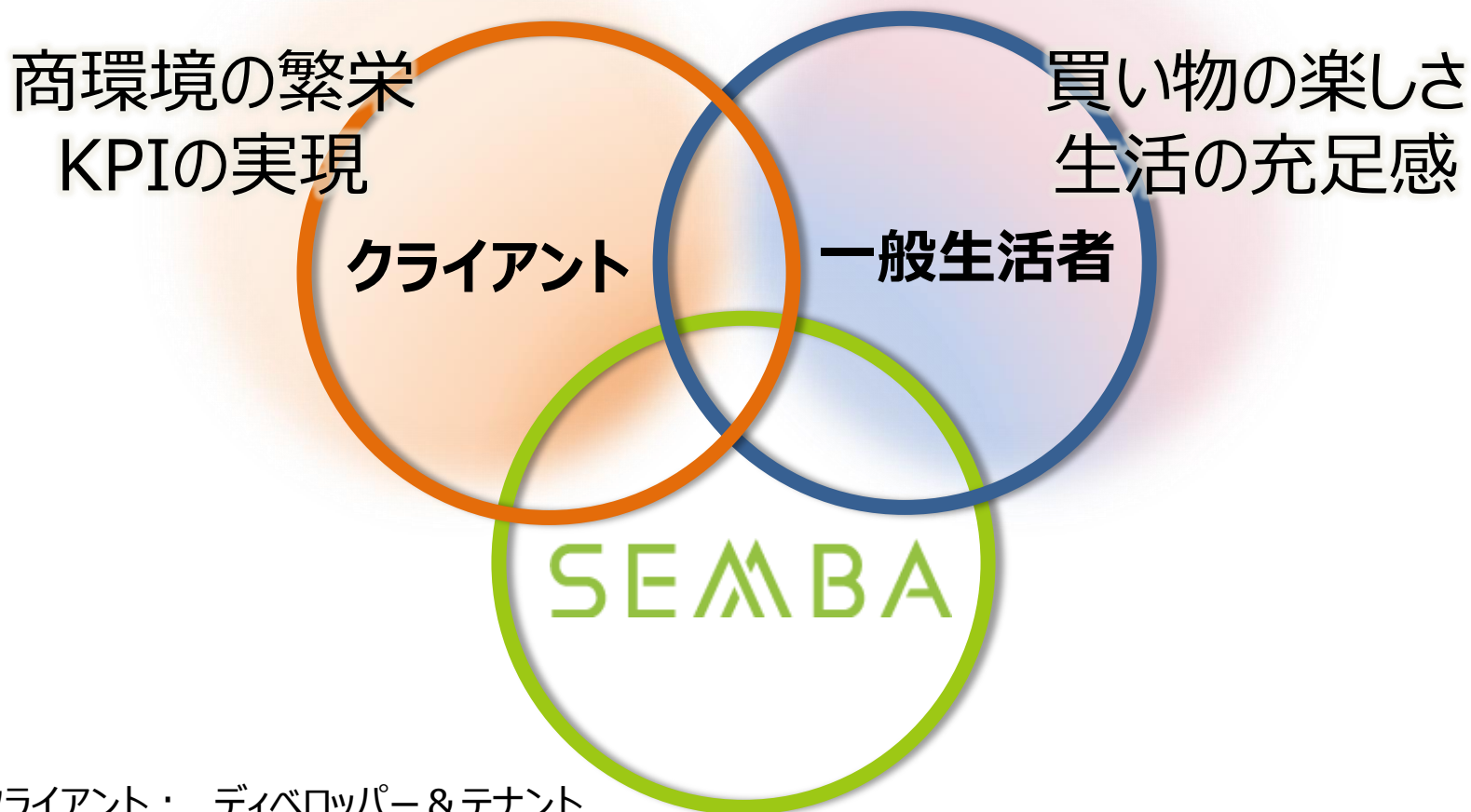
### II. 第2四半期決算の状況 及び 今後の見通し

# I 企業紹介 及び 業務実績と成長機会

# サクセスパートナー

私たちは商環境の創造を通じて  
社会の繁栄に貢献します。

クライアントの目指す「サクセス」を共有し、実現する



※ クライアント： デベロッパー & テナント

# SEMBA

真摯に、期待を超える。

どんなことにも正面から、  
真っ直ぐに、  
そして誠実に向き合っていく。

お客様からのご要望には、  
期待を超える提案でお応えしていく。

1947-

1960-

1970-

1980-

1990-

2000-

2010-

陳列ショーケース  
ショーウィンドの  
販売

「店装業」  
を標榜

SC拡大への対応

「店装業」から「繁盛請負業」へ  
「サクセスパートナー」を標榜

●47年：大阪・船場で創業

●62年：(株)船場ウインド(現 当社)を東京に設立

●68年：(株)船場ウインド(東京)を(株)船場に社名変更

●70年：SC総合開発研究所を開設

●84年：香港船場を設立  
(海外現地法人第1弾)



◀ 前社長の栗山忠雄が  
商業施設視察のため渡米  
(1961年)

## 流通業界

スーパー  
マーケット  
黎明期

チェーンストア化・SCの時代へ

店舗の  
郊外化・大型化

SC出店競争  
の激化

流通大再編

## 調査企画から設計、施工まで一貫しての業務受託が可能



### 当社の強み

▼  
商環境をサクセスに導く  
ソフト力





## ショッピングセンターづくりで培ったノウハウが価値の源泉

### 調査・分析・評価・企画

立地・商圈・競合状況の調査・分析の結果を徹底検証。最適・最良の開発コンセプトを策定。

◆REIT向けに商業施設評価も実施

### マスタープラン・環境デザイン

開発コンセプトや施設ボリュームを前提に、施設の基本設計計画や環境イメージ計画を立案。

## 船場のソフトカ

人を集める  
「見えざる仕掛け」  
ノウハウ

### テナントとのネットワーク

テナント各社の「サクセス」実現で得た信用力とリレーションで、SCのコンセプトを実現するテナントを誘致。

### テナントミックス・プランニング

競合環境、ターゲット戦略、投資計画などを総合的に検討した施設構成、テナントの配置をプランニング。

調査企画から設計、施工までを一貫して受託

複合商業施設 【駅商業】

盛岡駅ビル「フェザン」 おでんせ館 1階



岩手県盛岡市 / 2017年3月 リニューアルオープン

クライアント： 盛岡ターミナルビル株式会社 様

大型開発プロジェクトの獲得

専門店の受注拡大

## 複合商業施設【郊外型SC】

### イオンモール新小松



石川県小松市 / クライアント：イオンモール株式会社 様



## 複合商業施設【都市型SC】

### 三宮オーパ2



兵庫県神戸市中央区 / クライアント：イオンモール株式会社 様 株式会社OPA様

## 専門店 【ブランドファッション】 ALEXANDER WANG GINZA SIX店



東京都中央区 / クライアント：株式会社 CLUB 21 JAPAN 様

## 専門店 【ブライダル】 Authentique 大阪



大阪府大阪市中央区 / クライアント：株式会社 洩上ファインズ様

既存事業分野での安定成長を維持しながら、  
新たな「商環境」の創造で更なる成長を目指す

**商環境の変化を捉え、成長機会を獲得**



## 商環境の変化にともない、 当社の携わる商環境の創造領域も拡大

### < 商環境の大きな変化 >

### < 船場が導くサクセス >

① 購買スタイルの変化

② 顧客アプローチの変化

③ 流通業界の再編による変化

④ 集客を生む空間の変化

来店者数の増加

売上の増加

空間付加価値の向上

## ① 購買スタイルの変化

リアル店舗における  
生活提案・快適空間の創出

### エディオン蔦屋家電



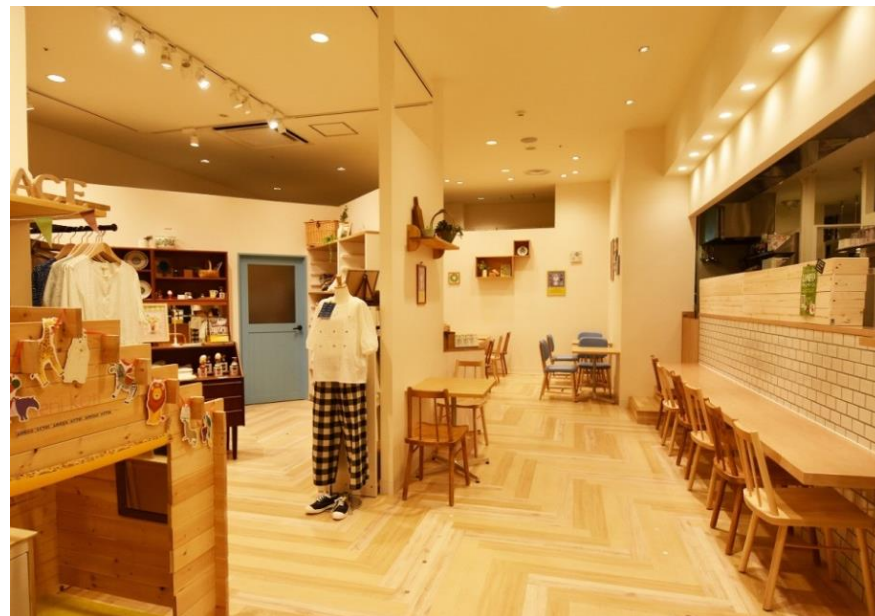
広島県広島市南区 / 2017年4月オープン

クライアント：株式会社 エディオン様

## ① 購買スタイルの変化

リアル店舗における  
生活提案・快適空間の創出

### north object ららぽーと甲子園店



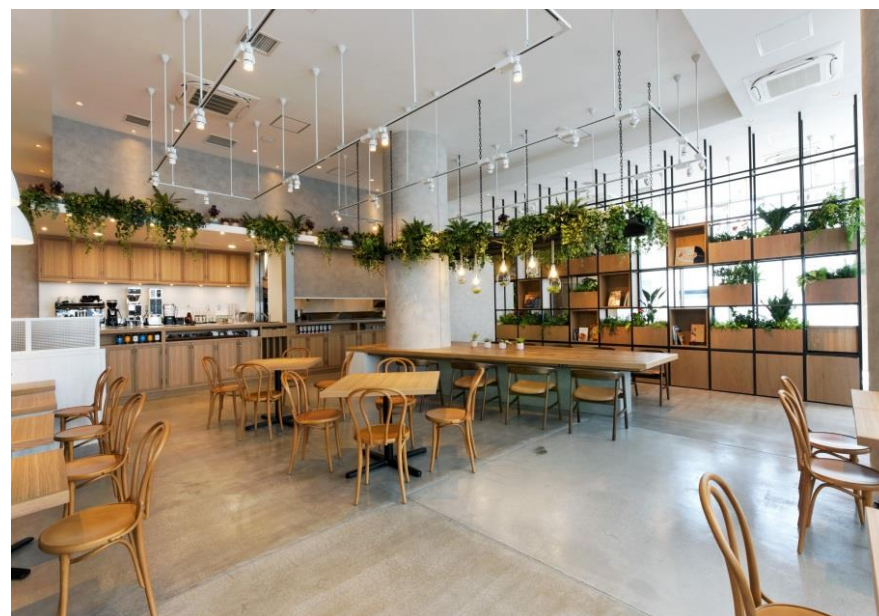
兵庫県西宮市 / 2017年4月オープン  
クライアント：株式会社 ノースオブジェクト様



## ② 顧客アプローチの変化

シーン創出で  
新たな顧客層を獲得

### Eggs'n Things 梅田茶屋町店



大阪市北区（大阪工業大学梅田キャンパス）／2017年3月オープン  
クライアント：EGGS'N THINGS JAPAN 株式会社 様

## ② 顧客アプローチの変化

シーン創出で  
新たな顧客層を獲得

### パナホーム横浜第三展示場（住宅1階部分：カフェ空間）



神奈川県横浜市西区（TVKハウジングプラザ横浜内）／ 2017年4月展示開始

クライアント： パナホーム 株式会社 様



## ③ 流通業界の再編による変化

業態の再構築  
施設・売場のリニューアル

### ホームコーデイ 神戸三宮店



撮影：森石風太/ナカサ&パートナーズ

兵庫県神戸市中央区（三宮オーパ2） / 2017年3月オープン

クライアント：イオンリテール 株式会社 様

## ③ 流通業界の再編による変化

業態の再構築  
施設・売場のリニューアル

### イオンモール浜松志都呂 「シトロの森」



静岡県浜松市西区 / 2017年3月リニューアルオープン

クライアント：イオンモール 株式会社 様



## ④ 集客を生む空間の変化

## 新たなる付加価値空間の創出

### 近畿大学 アメニティフィールド



大阪府東大阪市  
クライアント：近畿大学 様

2017年4月オープン  
丸善雄松堂 株式会社 様



## ④ 集客を生む空間の変化

## 新たなる付加価値空間の創出

### 大阪商業大学 リアクトカフェ



大阪府東大阪市  
クライアント： 谷岡学園 様

2017年4月オープン  
丸善雄松堂 株式会社 様

これからも、新たな「商環境」の創造の芽吹きを捉え、  
成長機会を獲得

< 商環境の大きな変化 >

< 船場が導くサクセス >

① 購買スタイルの変化

② 顧客アプローチの変化

③ 流通業界の再編による変化

④ 集客を生む空間の変化

来店者数の増加

売上の増加

空間付加価値の向上

国内及び海外大型プロジェクトの業務推進

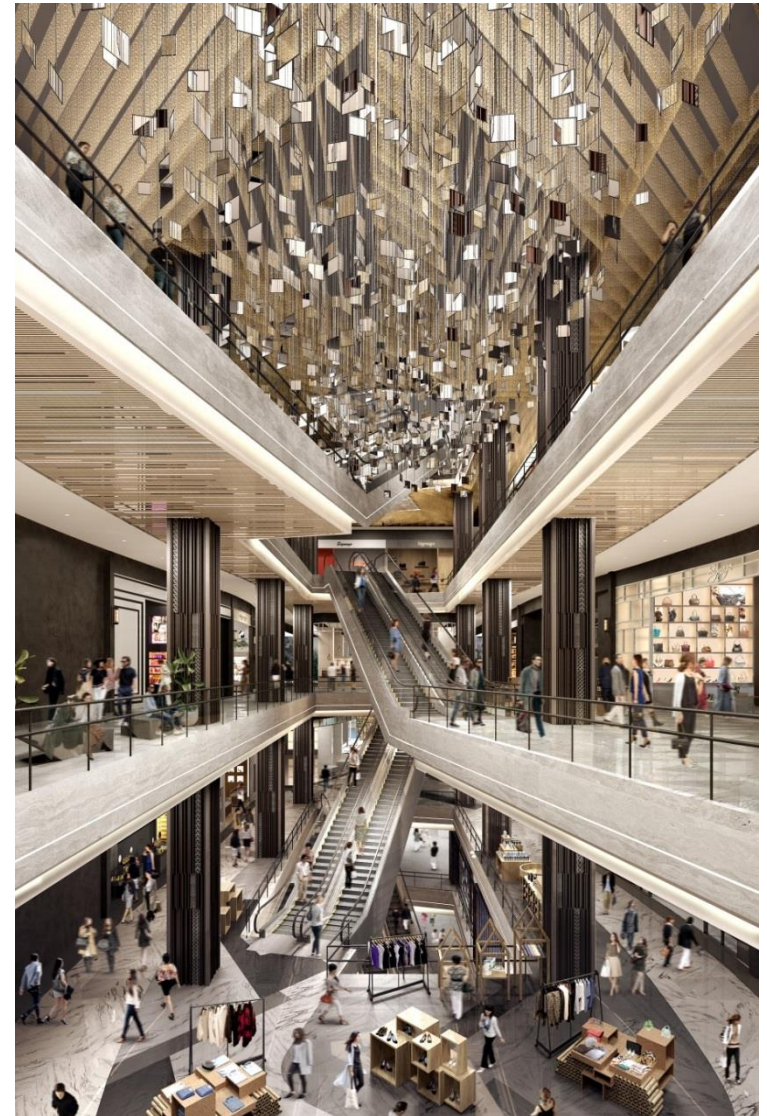
公共空間における付加価値創造の事業化推進

(株)船場と台湾船場が  
「Breeze南山」全体及び  
「Breeze南山 アトレ」の  
環境計画及び基本設計・実施設計業務  
を推進

(台湾：2018年秋開業予定)



<http://www.semba1008.co.jp/ja/news/news-170821.html>





## 公民連携の公園事業スキームを構築 (活性化コンサルティング対応)



豊島区／南池袋公園 (2016年4月2日 全面開園)

## Ⅱ

# 第2四半期決算の状況 及び 今後の見通し

# 連結業績の概要

施工物件売上増加により増収の一方で、利益率低減  
また、今後の事業拡大に向けた投資等により経費増加し減益

(百万円)

	2016年12月期 第2四半期累計		2017年12月期 第2四半期累計			
	実績	利益率	実績	利益率	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	14,092	—	14,803	—	711	5.0%
売上総利益	2,413	17.1%	2,353	15.9%	▲ 59	▲ 2.5%
販売費及び 一般管理費	1,490	—	1,599	—	108	7.3%
営業利益	922	6.5%	754	5.1%	▲ 167	▲ 18.2%
経常利益	934	6.6%	778	5.3%	▲ 156	▲ 16.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	550	3.9%	516	3.5%	▲ 33	▲ 6.1%
1株当たり 四半期純利益	62.98円		52.48円		▲ 10.50円	

## 【主な項目の増減要因】

**売上高 +711**  
都市部の開発プロジェクト獲得  
専門店の受注拡大

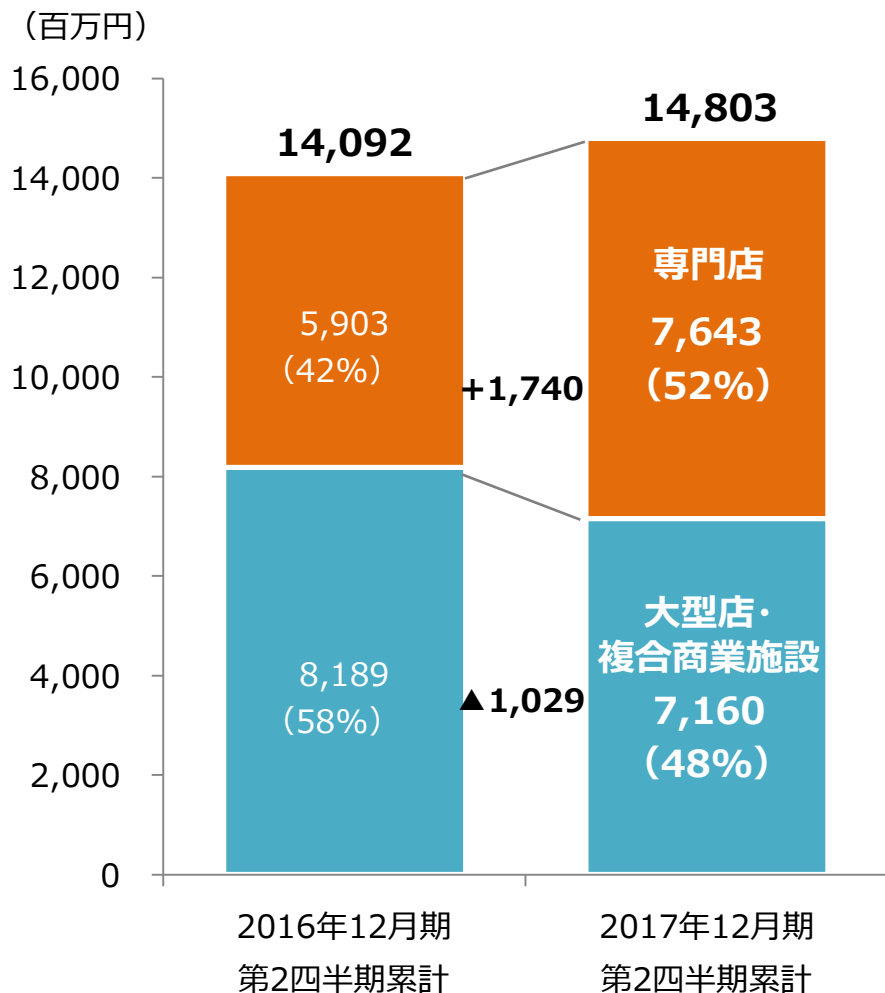
**売上総利益率 ▲1.2%**  
売上構成比率の変化に伴い、  
外注率の高い施工物件の増加

**経常利益率 ▲1.3%**  
人員増に対応するためのオフィス移転  
費用等の計上

**法人税等**  
税制改正による実効税率低減等  
により減少



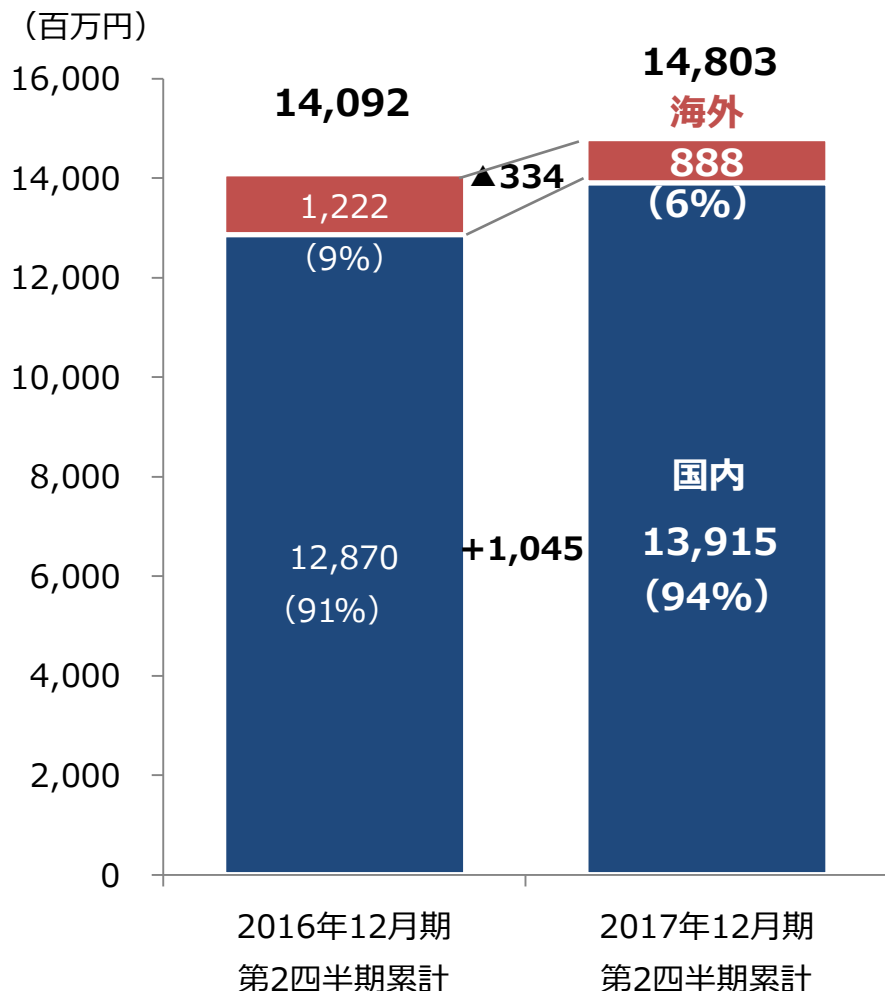
流通ディベロッパーの大型店舗の投資抑制の一方で  
都市部の開発プロジェクトや専門店の受注拡大



5千万円以上の物件の売上状況

専門店		
(件数)	2016年12月期 第2四半期累計	2017年12月期 第2四半期累計
アパレル	4	3
書店	3	1
飲食	1	6
他（複合物販等）	2	7
合計	10	17
大型店・複合商業施設		
(件数)	2016年12月期 第2四半期累計	2017年12月期 第2四半期累計
大手流通DV	11	9
百貨店関連	2	1
不動産DV	1	3
大型専門店	4	4
他	3	1
合計	21	18

海外は大口顧客の投資が端境期にあたり今期は減少



海外法人別売上推移

(百万円)	2016年12月期 第2四半期累計	2017年12月期 第2四半期累計
香港	142	105
台湾	530	271
シンガポール	167	180
上海	320	273
ベトナム	28	20
その他	32	35
合計	1,222	888

ご参考)円換算レート

16/12: HKD 14.39/TWD 3.41/SGD 80.89/CNY 17.06/VND 0.0052

17/12: HKD 14.45/TWD 3.67/SGD 80.01/CNY 16.39/VND 0.0049

1. 当社グループにおける法人別売上高は主として所在地の施工物件を対象にしておりますが、顧客等の状況により近隣国の物件を対象にする場合があります。
2. その他には日本国内で手掛ける海外売上及び連結間取引修正等を含んでおります。

# 連結業績の概要（貸借対照表）

(百万円)

	前連結会計年度 2016年12月期	当連結会計期間 2017年12月期 第2四半期	対前期比 差額
<b>資産</b>	17,914	18,693	778
流動資産	15,535	16,304	769
固定資産	2,379	2,388	8
<b>負債</b>	9,488	9,999	511
流動負債	7,808	8,391	583
固定負債	1,679	1,607	▲ 71
<b>純資産</b>	8,426	8,693	266
<b>負債・純資産合計</b>	17,914	18,693	778

## 【主な項目の増減要因】

### 流動資産 **+769**

- ・現預金増加 +896
- ・売上債権減 ▲71

### 流動負債 **+583**

- ・買掛債務増加 +690
- ・未払金及び未払費用減 ▲100

### 純資産 **+266**

- ・当期利益 +516
- ・剰余金配当 ▲255

# 連結業績の予想

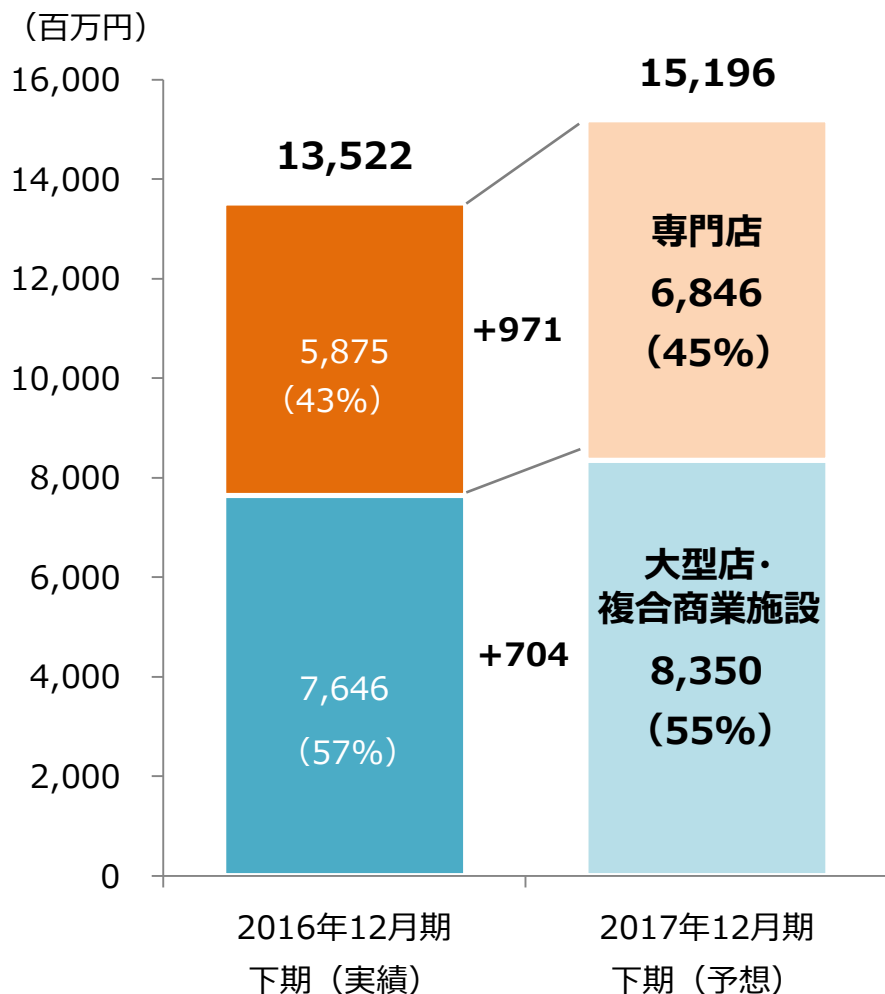
引き続き、施工物件増加による増収  
利益率は上期同水準と予想

（百万円）

2016年12月期 実績			
	上期	下期	通期
売上高	14,092	13,522	27,615
売上総利益	2,413	2,370	4,783
営業利益	922	793	1,715
営業利益率	6.5%	5.9%	6.2%

2017年12月期			
	上期（実績）	下期（予想）	通期（予想）
売上高	14,803	15,196	30,000
売上総利益	2,353	2,377	4,730
営業利益	754	795	1,550
営業利益率	5.1%	5.2%	5.2%

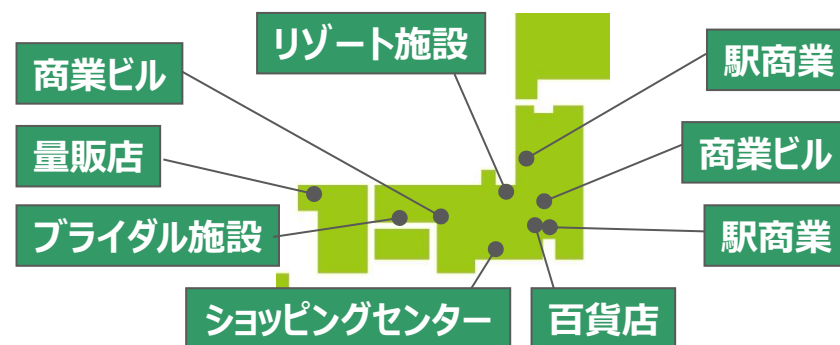
## 専門店、大型店・複合商業施設とも受注は堅調に増加



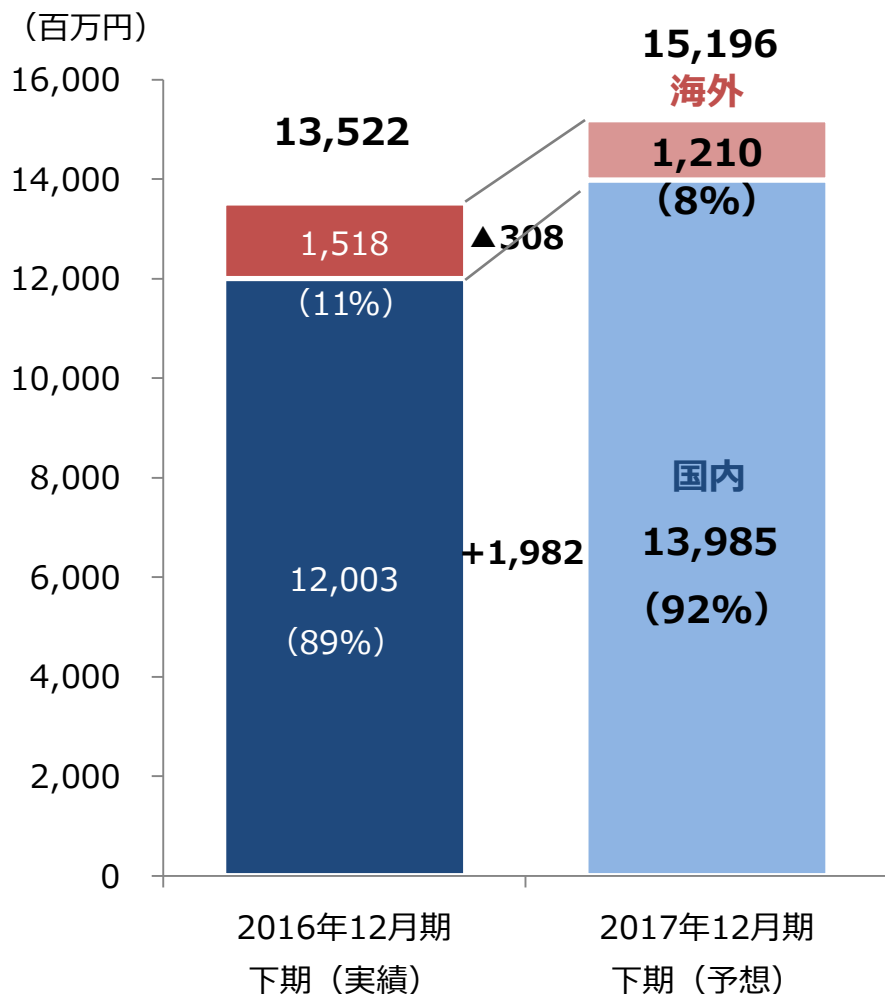
### 第2四半期末受注残高

(百万円)	16年12月期 第2四半期末	17年12月期 第2四半期末	対前年同期 増減率
	専門店	1,051	
大型店・ 複合商業施設	3,019	3,338	10.6%
合計	4,070	4,796	17.8%

### 第2四半期末の大型物件の受注状況



## 海外は下期も大口顧客の投資が端境期にあたり減収



海外法人別売上推移

(百万円)	16年12月期 下期 (実績)	17年12月期 下期 (予想)
香港	98	87
台湾	329	289
シンガポール	271	156
上海	450	536
ベトナム	261	51
その他	106	90
合計	1,518	1,210

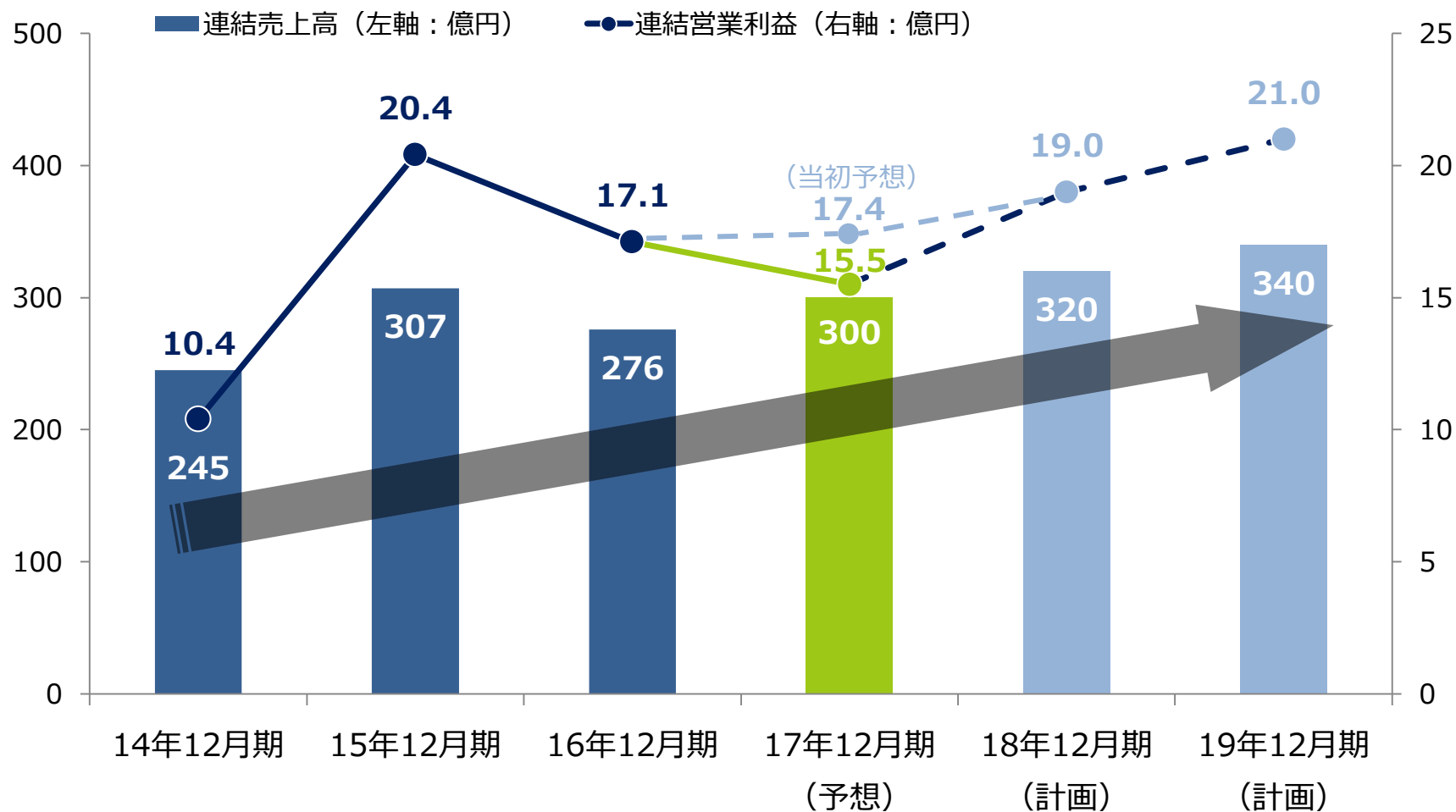
ご参考)円換算レート

16/12: HKD 14.02 / TWD 3.37 / SGD 78.76 / CNY 16.36 / VND 0.0049

17/12: HKD 14.00 / TWD 3.50 / SGD 85.00 / CNY 17.00 / VND 0.0052

1. 当社グループにおける法人別売上高は主として所在地の施工物件を対象にしておりますが、顧客等の状況により近隣国の物件を対象にする場合があります。
2. その他には日本国内で手掛ける海外売上及び連結間取引修正等を含んでおります。

今期の売上は計画とおり推移、利益は売上構成の変化により下回った  
 来期以降は受注も堅調であり、売上・利益ともに安定的に成長すると見込む





株主還元を重要な経営目標と位置づけ、  
今後も損益状況を勘案しながら配当の強化を目指します

配当実績と計画	2015年 12月期（実績）	2016年 12月期（実績）	2017年 12月期（予想）
1株当たり年間配当	12.0円	26.0円	35.0円
配当性向	6.5%	20.9%	34.1%

（注）当社は2016年10月5日付で、株式1株につき50株の株式分割を行っております。

上記では、2015年12月期の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株当たり配当金を算出しております。

# サクセスパートナー

私たちは商環境の創造を通じて  
社会の繁栄に貢献します。

## 【ご注意事項】

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。これらの予測及び見通しは、リスク及び不可実性を内包するものであり、その実現を保証するものではありません。実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

## 【お問い合わせ先】

株式会社 船場 経営企画室  
T E L : 03-6865-8195  
E-mail : ir@semba1008.co.jp